

キャラクター名
橘樹 肇太(タチバナ ケイタ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	泥棒	カヴァー	怪盗レクティワード
	ウロボロス					
オプション			年齢	19(22)	性別	男
覚醒	渴望	衝動	憎悪	初期侵食率	48	%
出自	資産家	経験	喪失	邂逅	復讐	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	16
感覚	3	1	0	3		7	(非装備時)	16
精神	2	0	0			2	戦闘移動	21
社会	1	0	0			1	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	31		RC			交渉	3	
回避	1		知覚	1		意志	3		調達	4	
運転：二輪	2		芸術：			知識：美術品	2		情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレットガンズ ↑強化素材	射撃	7r+31	0	LV+4		
		1				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者	P	N		
橘樹 誠太(WH)	P 庇護	N 恐怖		
クラブ・ドルフィーナ(PU)	P 尽力	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
アトランティカ	P 誠意	N 不安		
二トロ	P 信頼	N 嫉妬		

最大財産P: 10 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
尾を食らう蛇	★	4	セット	至近	自身	自動	-	
効果： 特定タイミングのエフェクトを一つ使用する、HP-1D10								
ハンドレットガンズ	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 〈射撃〉武器作成								
千変万化の影	6	2+1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： シーン間選択技能レベル+[LV+1]、3回/シナリオ								
黒：ライトスピード	★	5+2	マイナー	至近	自身	自動	100	
効果： メインプロセスを2回行う、C値+1、1回/シナリオ								
コンセ：ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果： C値-[LV](下限7)								
赤：スパークウェッジ	5	2+1	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果： HPダメージ後自身以外を攻撃した際HPダメージ[LV*3]								
混色の氾濫	1	2	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果： 範囲変更、[LV]回/シナリオ								
リフレ：ウロボロス	3	2	リアク	至近	自身	-	-	
効果： C値-[LV](下限7)								
緑：ゲットダウン	★	2+1	リアク	至近	自身	対決	-	
効果： 〈射撃〉でドッジ								
オリジナルツール	5	3	オート	至近	自身	自動	100	
効果： ラウンド間選択技能達成値+[LV*2]、1回/ラウンド								
魔弾の悪魔	2	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果： 達成値+10、[LV]回/シナリオ								
巨人の影	★	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果： シーン間指定エフェクトLV+2、1回/シーン								
喰われし贄	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果： シーン間攻撃力+[LV*3]、1回/シーン								

橘樹財閥の長男として生まれ、覚醒するその日まではなに不自由することなく育った青年。
現在は弟・誠太と共に『復讐』と称し、本来自分たちの家財であり遺産である奪われた物品を探し求めて旅をしている。

裏の世界に足を踏み入れることになったのは7年前。
好事家でもあった両親が集めていた『遺産』を狙った『盗賊』により、その当時屋敷にいた人間は皆殺しにされた。
成すすべなく蹂躪されてゆく命に対し憤怒し、それに対し何もできずに弟と共に息を潜めていることしかできない無力な自分に嫌気が差した。
そして、力を望んだ。そこで偶然か必然か、すぐ傍にあった『造花』と呼ばれていた家財の一つでもあった遺産に見初められ、契約し力を得た。
奪われた遺産を全て取り返し、自分たちから奪った全ての人間に同様の屈辱を味わわせることを復讐とし、どんな困難な出来事があるともそれを完遂することを誓約とした。顔面に残る大きな火傷跡もその一端である。

とはいえ当時は12歳で、共に生き残った弟もまだ幼かったため、いくら財閥長子としての立場や資産があるろうと正式な手続きを踏んで世界を飛び回るのは難しく、密航し国を渡り歩くような状況であり、とてもじゃないが世界各地に散らばってしまった『遺産』を集めるなんてできなかった。
それでも彼が旅を強行したのは、その絶望に立ち向かい続けることを強要されていたからであるのだが、これに対して自覚はない。

ある日、アトランティカと二トロが移送に使用した船に乗り込んだことで、彼らと邂逅する。
彼らはギルドとしての仕事をしているところであったというのに、兄弟を拾い、仲間に引き入れた。
それ以来彼らと行動を共にすることで、『遺産』に関する情報を集める余裕も生まれ、本格的に兄弟の復讐が始まった。

彼の盗みのモットーは「正々堂々」。
対象に襲撃の恐怖を与え、『遺産』に絡った場合には模倣品を握らせ屈辱を与え、そして一番最後に殺す。
盗みに入る前に予告を出すのもその一端。

